

愛知総合工科高校から中学生の皆さんへ 第3号
～将来のテクノロジストへの応援メッセージ～

中学生のみなさん 今、何に一番興味を持っていますか？私は中学生のころに、スーパーカーと呼ばれる高性能で、大きなエンジンを積んだ格好の良いスポーツカーに憧れ、将来は絶対に乗ってみたいと思っていました。あれから年月が進み、今日の自動車は動力源がエンジンから徐々にモータへと変化し、さらにコンピュータを組込み、あらゆる制御システムを搭載した車が走るようになりました。数年先には自動運転も実用化の段階に来ています。当時と比べると、考えもつかなかった新技術が、使われて驚いています。自動車以外にも、私たちの身の回りにはたくさん「もの」があります。その中で、過去には存在しなかったもの（スマートフォン、AI機能を搭載した家電製品など）も多く使われ、私たちの生活はより豊かになっています。このように私たちの身の回りのものをどんどん新しく変えて、魅力あるものをつくり出している人たちは、一体誰なのでしょう？これこそ「テクノロジスト」と呼ばれている技術と技能の両方を身に付けた人たちです。この人たちのお陰で、私たちは常に新しいものに触れることができているのです。みなさんも是非、テクノロジストを目指す学校を覗いてみませんか？

ここで工科高校で学ぶことと、ものづくりについて簡単に触れてみます。冒頭の自動車の例を取り上げますと、スタイルの良い車にするにはデザインの専門技術が、足回りや駆動系は機械の専門技術が、モータの制御は電気、電子情報の専門技術が、材料、材質は化学の専門技術が利用されています。このようにいろいろな専門分野の知識、思考、技術、技能等が絡み合ってもものづくりがされています。つまりいろいろな専門分野の力を合わせることで、良いものが完成するのです。工科高校で学ぶことも同じです。それぞれの学科で学ぶ内容は学科ごとに異なりますが、将来的にどこの学科で学んだことでも必ず役に立っているのです。

愛知総合工科高校では、1年生の前半は各学科の専門の学習を体験し、その後、自分に合った専門分野に進むことができます。みなさんは将来何をを目指したいですか？迷っている人もあると思います。とりあえず興味のあるところから覗いてみませんか？どの分野に進んでも、「やってみたい、今これに興味がある。」という気持ちがあれば、どの道に進んでもいい方向に向くと思います。

私は、愛知総合工科高校の電気科で「電気」を教えています。「電気？」って聞くと、理科のオームの法則を思い出し、「回路計算が難しい。」というイメージがあるかもしれません。電気は目に見えなく、正体不明なものと思われ、難しいと感じる人はいます。しかし、よく考えてみますと、世の中のものは全て電気で動いているのです。私たちの生活を支えているのは電気エネルギーであるのはもちろんみなさん知っていますね。その他に、私たちの心臓も洞結節と呼ばれる部分で、1分間に60～80回の弱い電気信号を発生させて動いています。電気のお陰で世の中は動いていて、私たちも生きているのです。本校電気科の生徒は、「電気の授業は難しいけど、電気は世の中を動かしている魅力があるんだ。いろいろな場所で電気は社会に貢献しているんだ。」と言って自信と誇りをもって勉強に励んでいます。

私は高校時代、将来は先生になりたいと思っていました。でもその当時は何の教科の先生になるかわかりませんでした。学校でいろいろと学んでいくうちに電気の本当の魅力を知り、これ（電気）で教えようと思い工科高校の電気の教員になりました。工科高校は電気科以外にも魅力のある学科がたくさんあります。いろいろな実習装置もたくさんあります。気軽に足を運んで、学校を見に来てください。そして将来みなさんが社会で活躍できるように、みなさんを応援していきます。

愛知総合工科高校 安西 治